



浜家連 ニュース 6月号

第202号

平成29(2017)年6月1日発行

○発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816 FAX 045(548)4836
URL <http://hamakaren.jp/>

浜家連 “総会の苦痛” と議案書の“核芯” 大羽 更明

5月30日(火)、第9回浜家連通常総会が井汲悦子さんの司会で開会され、宮川理事長の浜家連の活動を振り返る挨拶の後、ご来賓の方からこもごも協賛のお言葉をいただきました。稲垣宇一郎さんを議長として議事は順調に進められ、すべての議案が可決されました。青いとり作業所の石渡施設長とわかば工芸の丸山施設長からご挨拶をいただき、最後に、長年事務局で頑張ってくられた斉藤さんと小野寺さん、そして同じく監事を務めていただいた菊地さんに理事長から花束を贈呈してねぎらいと感謝の気持ちを表しました。

NPO法人(特定非営利活動法人)である浜家連は、本来なら各単会から登録された「正会員」全員が社員として総会の議決権を持ちますが、そうすると1,000人近い会員が一堂に集まることとなります。それはちょっと無理なので、浜家連の定款では「特定正会員」を特定非営利活動促進法上の「社員」と定め、実際には各単会から5名ずつ約90名が総会に出席します。議事進行は、32ページもの議案書をすべて読み上げてからの裁決になります。正直いえば、総会で報告や提案を聞くのはとても退屈で“苦痛”とも言える時間です。最近では「電磁的方法」により議案書のデータを電子メールで送り、賛否を

メールで返す「みなし総会決議」が合法になったので、定款を変えれば、浜家連でも“総会の苦痛”を軽減できるかもしれません。

メールと言えば、浜家連ではすでに電子メールをフルに活用しています。理事長・副理事長・専務理事の三役の会議が毎月1回開かれますが、その議題に関する意見交換は会議の日を待たずに随時メールで行われています。三役は自宅にいても毎日メールをチェックし、必要に応じて自分の意見をメールに書き込むのが習慣になっています。総会や理事

会、常任理事会が同じように電磁的方法を利用するときがくるのでしょうか。

ほとんどの浜家連の会員のみなさんは総会に出席しませんから、“総会の苦

痛”をご存知ないと思います。苦痛は味わわないほうがよいのですが、ひょっとすると総会でどんなことが採決・承認されたのか知らない方も大勢おられるかもしれません。議案書の中でそれぞれ1ページの「事業の総括」と「活動方針」は、浜家連の活動の総まとめの文章で、いわば浜家連理事の思想・信条を表明した“核芯”にあたります。文章をまとめるときには理事会で1時間以上も激論を交わすこともあります。ぜひ読んでいただき、みなさんと共有していただきたいと思います。



◆長い間ご苦労さまでした。そしてありがとうございました◆

これまで長い間、事務局として浜家連の屋台骨を支え続けて下さいました斉藤昌博前事務局長と小野寺純子さんが、本年の総会をもって退任されることになりました。お二人から退任にあたってのメッセージが届いています。



浜家連を退職するにあたって

この度浜家連を5月末で退職しました。丁度10年前の平成19年2月に妻からの口利きで初めは給与計算の担当ということで、週に3日の出勤でしたが、1年半後急に事務局長がお辞めになって、その後任を引き継ぐこととなりました。引き継いだ当初はいろいろ分からない事ばかりでしたが、石井会長、米倉理事長、宮川理事長はじめ、理事さん等、様々な人に力をいただいて、何とかこなして来れました。家族会の方、関係機関の方に改めて感謝とお礼を申し上げます。振り返ってみると楽しい思い出ばかりです。

記憶に残ることは、浜家連のNPO法人設立

浜家連を退職するにあたって

浜家連の事務局が鶴見にあった頃から約12年間在籍させて頂きましたが、このたび退職いたします。たくさんの方々との出会いに恵まれ

齊藤 昌博

の事務に携われたこと、鶴見から新横浜に事務所が移転したことが私にとって一番大きな出来事でした。

浜家連は新事務所に移転して、ますます力を発揮して業務が進展しています。後任の中居事務局長にお任せしたいと思います。私は浜家連から離れますが、機会がありましたら、寄らせていただきたいと思います。

後半2年間は自分の体調が悪いためと、妻が大病を患い、休みがちになり、皆様に多大なご迷惑をお掛けしました。どうぞ、皆様も健康には充分気を付けてお過ごしください。

小野寺 純子

たことに感謝しております。皆さまにはお世話になりありがとうございました。浜家連のますますのご発展をお祈りいたします。

浜家連の動き

.....



30年度の予算に向けた要望書提出及び懇談会が行われます。我々の声を横浜市へ届ける数少ない機会です。皆様のご参加をお待ちしています。

懇談先	日程	時間
公明党	6月15日(木)	10:00~10:45
共産党	6月15日(木)	11:00~12:00
自民党	6月15日(木)	15:40~16:20
民進党	6月19日(月)	13:00~13:30
健康福祉局	7月19日(水)	10:00~11:30
無所属・ネットワーク	調整中	

◆第3期障害者プランの見直し当事者ワーキング◆

第3期障害者プランの見直しについて、当事者ワーキングが全5回にわたって開催されました。この会議に浜家連の声掛けに応じて、7名の方が参加して下さいました。この会議について報告が届いています。

～参加された 澤田 高綱 氏の報告及び感想～

3年前のワーキングでは3障害いろいろな方がたくさん出る中で精神からの人は私を含めもう一人という全体で2人という中でのワーキングであった。意見はほとんど聞き入れてもらえる状況ではなかったと、「配

慮がない」と苦言をして帰ったのが効果があったとは思わないが、今回は私を含めた7名の方々が出てくださった。健康福祉局の方も今回はそれぞれの障害ごとにグループを分けて話し合うことができたので聞き入れて

もらえる配慮ができていたことに感謝。

全 5 日間に及ぶテーマごとの話し合いは大変熱いものでした。私も浜家連からもらった要望書などを参考に話も出していきました。健康福祉局の方も2、3名ほどその時のテーマに合わせて、グループに交わっているいろいろな意見を立場関係なくブレインストーミング形式で次々出てきた意見を紙に書いて張ってもらう形は発言しやすくよかったです。

1日目のテーマ「啓発・防災」ではどのような啓発をしていけばよいかとか障害理解についての話をした。ここでは単なる講義形式だけでなく、一般の人に理解されるようにするためにも一般の人でも参加できるスポーツ大会やイベント交流会などをやった方がお互いの理解、偏見差別をなくすきっかけになるのではないかなどの意見がでました。また防災を考えるとアウトリーチが必要ではと訴えました。

2日目のテーマ「生活・暮らし」では、精神の障害があることでの暮らしにくさ、生活のしづらさをうったえ、交通の便をもっと便利にしたり、引きこもりがちの方に出るの機会を作ることによって経済効果があがるような提案もしました。そしてグループホームを増やしてほしい。横浜でも空き家や空きビルが増えたので安く活用できるように制度化してほしい、レスパイトハウスがほしいなどの意見もでました。

3日目のテーマは精神の方が一番大事な回であった「健康・医療」についてだった。入院中だと将来就労などを考えたとき、履歴書が空白になるのを何とかしてほしい。学習ができる機会を作ってもらうために、入院中や引きこもりなどの方向けに家庭教師など

を外国のように学歴として認めてもらいたいとか、緊急の場合予約の方から優先してもらえるようにしてほしいとか、身体的な疾患の場合救急車が来てもなかなか病院が受け入れてもらえない問題とか、メンタルヘルスなどもきちんと配慮していかなければなどが話されました。また医療を使いやすくするための見える化の実践できるようにしてもらいたい。また防災の面でも普段からのお薬管理も含め生活と密着した精神に強い訪問看護なども充実できるようにしてもらいたいなども意見がでました。

4日目のテーマ「養育・教育」などで精神はあまり関係がなかったテーマではありましたが今回参加されているメンバーの大半がピアスタッフだったこともあり、横浜独自の資格化ができないかなど健康福祉局の方からの意見も出ました。

5日目のテーマ「働く」では私は出られなかったのですが、障害者雇用を50人以上の従業員に対してではなく横浜は中小企業が多いこともあり、10名ほどで適用してほしいとか、ピアスタッフにも得点が付くようにしてほしいなどの意見もでました。

最後にいろんな意見が出ましたが、実はほとんど健康福祉局の方も含め休憩時間の喫煙所でのフリートークの時間が一番いい意見がみんなから出ていました(笑)。「障害者手帳に色分けはいらぬよ～」と私がいうと健康福祉局の方が「澤田さん、それいいじゃん、テーブルの上で言ってよ(笑)」とやっぱり精神の場合、リラックスが一番必要だと思いました。

なんにしても一つでも多くの意見が反映されていることをねがうばかりです。



NPO法人浜家連 平成29年度年間計画表

(ブロック別フォーラム・メンタルヘルス講座・浜家連研修会)

* 太字は定員の都合で、事前予約制です。

開催日	行事名 (内容・テーマ)	内容・講師 講演会は参加費無料	会場・時間
6月16日(金)	浜家連研修会 第1回 社会復帰をめざして	武田 充弘 先生	ラポール2階 大会議室 13:30~16:00

7月 3日(月)	家族学習会担当者研修会 in 横浜	家族学習会実行委 員会メンバー	ラポール2階 大会議室 10:30~15:00
7月21日(金)	浜家連研修会 第2回 発達障害について	橋口 亜希子 氏	ラポール2階 大会議室 13:30~16:00
9月 9日(土)	Cブロックフォーラム (担当:のぞみ) ・ミュージックベルの演奏 ・精神科医師の講演	熊田 貴之 先生	鶴見区公会堂 13:30~16:00
9月15日(金)	浜家連研修会 第3回 精神障がい者の家族への 暴力	蔭山 正子 先生	ラポール2階 大会議室 13:30~16:00
10月 7日(土)	第23回市民メンタルヘル ス講座 1回目 マインドfulness	川野 泰周 先生	横浜市健康福祉総合セン ター 4階ホール 13:30~16:00
10月15日(日)	第23回市民メンタルヘル ス講座 2回目 うつ病について	菊池 俊暁 先生	横浜市健康福祉総合セン ター 4階ホール 13:30~16:00
10月20日(金)	浜家連研修会 第4回 成年後見人制度について	安中 真理 氏	ラポール2階 大会議室 13:30~16:00
11月16日(木)	浜家連研修会 第5回 就労支援について	木村 志義 氏	ラポール2階 大会議室 13:30~16:00
11月18日(土)	Aブロックフォーラム (担当:白梅会) 家族のSST	高森 信子 先生	港北公会堂 講堂(ホー ル) 13:30~16:00
30年 2月 3日(土)	Dブロックフォーラム (担当 若杉会) 最新の精神医療について	浅見 剛 先生	会場 戸塚区公会堂 13:00~16:00

*上記のほかに「家族による家族学習会」があります。

◆イベントのお知らせ◆

§ 29年度第1回浜家連研修会 §

<患者さんの社会復帰をめざして>~訪問診療から見えてきたこと~

日時: 6月16日(金) 13:30~16:00 (13:00開場)

場所: 横浜ラポール2階大会議室

講師: 武田 充弘 先生

(しんよこメンタルクリニック院長 精神科医)



§ 29年度家族学習会担当者研修会 in 横浜 §

日時: 7月3日(月) 10:30~15:00 (受付開始10:00)

場所: 横浜ラポール2階 大会議室

申込み締切日: 6月23日(金)

※29年度家族学習会を計画している単会は必ずご参加ください

【編集後記】

総会が終わり、29年度が本格的に始動しました。29年度も多くの事業が計画されています。これらの事業が当事者や家族など、精神障害によって苦労している方々を支える一助になってくれることを願って止みません。
(事務局 中居)